

県本部通信

8

2020 August
No.219



群馬県のマスコット「ぐんまちゃん」 許諾第2019-190661号

Monthly Zen-noh Gunma



Contents

事業のうごき

インフォメーション

がんばってます！

JAピックアップ！

アートクッキング

花木流通センター便り

毛無峠 吾妻郡嬬恋村

毛無峠は群馬県(嬬恋村)と長野県を跨ぐ峠で、「毛無」の名のとおり、辺りには木々が少なく、地面がむき出しの荒涼とした場所です。群馬県側には硫黄鉱山の跡があり、最盛期には2000人を超える人々が暮らしていましたが、昭和46年(1971年)に閉山し、今は誰も住んでいません。当時の名残として、峠の東側には硫黄製品や資材を搬送した索道跡が残されています。



私たち全農グループは、**生産者と消費者を
安心で結ぶ懸け橋**になります。

私たちは「安心」を3つの視点で考えます。

- 営農と生活を支援し、元気な産地づくりに取り組みます。
- 安全で新鮮な国産農畜産物を消費者にお届けします。
- 地球の環境保全に積極的に取り組みます。

事業のうごき

営農支援部

▶担い手支援課

- TAC活動等JAの出向く体制強化支援
- 大規模経営農家・法人等の事業支援

▶生産対策課

- JA野菜振興計画の目標達成に向けた取組支援
- 農産物の安全・安心確保対策
- 園芸作物生産実証農場の運営

畜産農産部

▶酪農畜産課

- 生乳計画生産の推進
- 初妊牛導入推進
- 素牛導入推進
- 種豚導入推進
- 渋川家畜市場の和牛及び乳用牛の集荷・販売推進

▶米麦特産課

- 令和元年産民間流通麦引取推進
- 令和2年産民間流通麦集荷推進
- 令和2年産ビール大麦販売事務
- 令和3年産民間流通麦播種前契約推進
- 「麦とる麺」特別推進（7月～9月）
- こんにゃく推進セット夏期特別推進（7月～8月）

園芸部

▶園芸販売課

- 共計ほうれん草販売（周年）
- 共計チンゲンサイ販売（周年）
- 共計味にら販売（周年）
- 共計にがうり販売（9月末日迄）
- 共計オクラ販売（9月末日迄）
- 共計県統一規格露地なす販売（11月末日迄）

▶販売促進課

- 夏秋野菜販売促進
- もやし類・加工野菜販売促進
- 花き類販売促進

▶園芸資材課

- ネポン暖房機推進（第2期・7～9月）
- 青果物予冷库推進（パナソニック）
- 秋用出荷資材予約推進
- 秋まき用種子推進（ほうれん草・ねぎ・きゅうり他）

生産資材部

▶花木流通センター

- お盆フェア 8月11日(火)～16日(日)
- 秋の準備園芸フェア 8月21日(金)～24日(月)

▶肥料農薬課

- セルフブレンド推進
- 麦肥料農薬推進
- 茎葉処理除草剤大型規格推進
- バンカーシート推進

▶農業機械課

- JA農業機械特別キャンペーン（7月～9月）

▶施設住宅課

- 賃貸アパート・個人住宅推進（周年）
- カクイチ物置・広スペースハウス推進（周年）
- 住友不動産(株)「新築そっくりさん」推進（周年）

生活燃料部

▶生活課

- 太陽光発電・蓄電池推進（周年）
- シロアリ防除事業推進（周年）
- 高崎ハムお中元ギフト・関連商品推進（6月～8月）

▶葬祭総合課

- 会員獲得募集の推進

▶石油課

- ホームタンク特別推進（8月～2月）

▶ガス課

- ガス器具推進（4月～12月）
- 給湯器燃料転換推進（5月～2月）
- JAでんき取扱い拡大（4月～3月）

JA前橋市西部支所起工式



6月17日(水)、JA前橋市西部支所新築工事起工式が執り行われ、JA役職員や工事関係者、当県本部職員等約50人が出席しました。新支所は、支所・営農施設再編計画に基づき、東・元総社・総社・清里の4支所が統合し、元総社支所の敷地内に建設します。

JA前橋市の大塚組合長は「新型コロナウイルス感染症終息後の活気ある経済に向け、西部支所は新しい環境のもと役職員一丸となって事業を展開していきたい」と挨拶しました。

完成は、令和3年1月の予定です。

会長記者会見



6月30日(火)、JAグループ群馬の取り組みに関する会長記者会見が行われ、29日(月)の通常総会で就任した唐澤会長の他、各連合会の役職員等が出席しました。会見で唐澤会長は、「新型コロナウイルス感染症対策として、県産農畜産物の消費拡大運動などを展開します。厳しい情勢が続いておりますが、JAグループ群馬は引き続き、食料の安定供給に万全を期すとともに、地域のインフラとしての役割を発揮できるように総合力を生かしてまいります」と意気込みを語りました。

野菜生産対策会議



6月22日(月)、生産対策課はJAグループ野菜生産対策会議を開催し、15JA・県・中央会・当県本部担当者約30人が出席しました。会議では、野菜振興計画令和2年度目標や取組実績、野菜生産拡大バックアップ事業実施要領、野菜生産振興に向けた新たな取り組みとして匠の技勉強会やキュウリ勉強会、園芸作物生産実証農場の取り組み状況を説明しました。さらなる野菜生産振興を目指し、担当者間で情報の共有が図られました。

孺恋高原キャベツを県知事へ贈呈



夏秋キャベツの生産量全国一位を誇るJA孺恋村の丸山組合長は、7月7日(火)、群馬県庁に山本県知事を表敬訪問し、生産状況の報告とキャベツ贈呈を行いました。

本格的な収穫シーズンを迎え、丸山組合長は「新型コロナウイルスの影響が心配されたが、作柄は順調に推移し、7月半ばから出荷量も増えていきます」と産地の状況を説明しました。山本知事は「キャベツは群馬の主力農産物であり、夏秋キャベツ出荷量日本一の記録など、先頭に立って発信したい」と話しました。

花を飾って 生産者を応援しよう！

～ 県産バラ花束をプレゼント～

当県本部は6月20日(土)・21日(日)・27日(土)・28日(日)の4日間、各日300束の本県産バラの花束(3本/束)を用意し、花木流通センターで2,000円(税込)以上お買い上げいただいたお客様にプレゼントしました。

新型コロナウイルス感染症拡大以降、イベントの中止・延期等により花の需要低迷が続き、生産者にとって厳しい状況となっています。自宅で過ごすことが多かったこの機会に、県産の花を自宅に飾り少しでも晴れやかな気持ちになっていただくとともに、地元生産者の応援を呼び掛けました。



～ JAビルに県産バラを展示～

群馬県花き振興地域協議会は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、消費が減退している花きの需要を高めるため、農林水産省の補助事業を活用しJAビルや公共施設等にバラの展示を行っています。JAビル1階ロビーでは、6月29日(月)から8月21日(金)の8週間にわたり週替わりで展示する他、各連合会にバラの花束を無償提供のうえ展示を依頼し、需要喚起に取り組んでいます。



※群馬県花き振興地域協議会構成団体：群馬県・群馬県園芸協会・JA全農ぐんま等

群馬県は全国有数のバラ産地で、全国の品評会で上位を独占するほど高品質のバラを生産しています。

園芸協会の柏事務局長は「コロナ禍の状況だからこそ、おうちに花を飾って、県産の花の魅力と生産者の現状を知ってもらいたい」と話しました。

コロナに負けるな
お花で応援！！

JAグループ群馬県

笑味ちゃん

小学校2年生

少しでもお花で明るい気持ちに
なれますように



はつらつ豚研究会を「ちくさんクラブ21」が取材

7月2日(木)、JAにったみどり管内のはつらつ豚研究会は、JA全農畜産生産部が発行する『ちくさんクラブ21』の取材を受けました。生産者3名(稲村会長、高木氏、岩崎氏)、JAファーマーズプレイス新田店の須藤店長、みどり市笠懸の白楽天(焼肉店)茂木店長が、「年間を通じて品質が安定しており、柔らかく旨味がある」など、さまざまな視点からはつらつ豚の魅力を語りました。詳細については、8月末発行の『ちくさんクラブ21』に掲載予定です。

また、同研究会では子供食堂への豚肉の提供等、社会貢献も積極的に取り組んでいます。

ぜひ一度、はつらつ豚をご賞味ください。



はつらつ豚とは？

JAにったみどり管内の3戸の農家が生産するブランド豚。予防的抗生物質を排除した飼料を育成段階から給与し、不飽和脂肪酸のバランスを考えた健康に良い豚肉を生産するため、ビタミン・ミネラルが豊富な海藻、甘藷、ニンニクなどの天然素材と米を配合した専用飼料を与えています。

重点取扱期間
令和2年.7/1-8/31

Aセット
セット内容
●あぐねいらず板こんにやく(エコープ)
●あぐねいらずしらたき(エコープ)
●生芋こんにやく(エコープ)
●生芋しらたき(エコープ)
●つきこんにやく
●大とろさしみこんにやく
●群馬の生芋カットこんにやく
●月のうさぎ 生芋みそ田楽おでん5本入り
●こんにやくパーク 玉こんにゃく

夏の蒟蒻 詰合せセット
こんにやく
甘味セット
セット内容
●きなこあんみつ
●ミルクな寒天(ブルーベリー)
●ミルクな寒天(ストロベリー)
●低糖質カスタードゼリー
●梅干ゼリー
●ぶるんと蒟蒻ゼリー(ピーチ)
●ぶるんと蒟蒻ゼリー(マスカット)

特別セット
セット内容
●がんこつ山の玉こんにやく(生ずり)
●生芋こんにやく(生ずり)
●生芋しらたき(生ずり)
●生芋小玉こんにやく(生ずり)
●刺身こんにやく(青のり)
●突きだしこんにやくのピリカラ炒め
●みそ漬けこんにやく

【お問合せ先】
JA全農ぐんま 米麦特産課
TEL:027-220-2251 FAX:027-265-1415

組合員の皆様へ **労働負担を軽減** する
農家の方々の 農作業おすすめサポーターラインナップ

腕上げサポーター
ボンボンモット bonbone MOTT

中腰姿勢での作業や
重いものを
持ち上げる作業等、
身体の動きを
しっかりサポート

ターフィン サット (上半身)
ターフィン サット 下腿バフ

前かがみ姿勢、前屈動作がラクになる
ターフィン サット (下半身) 4色・4サイズ
育中のアシスト機能+骨盤コルセット機能

ターフィン サット (上半身)
ターフィン サット 下腿バフ

立ち上がりやラクになる
下腿バフ

重たい荷物や
長時間の立ち作業、
腰全体を
しっかりサポート

バリエーション
マジックアクションキックアクラシック

【お問合せ先】
JA全農ぐんま 生活燃料部 生活課
TEL:027-220-2351 FAX:027-220-2324

がんばってます!

JAたかさき 営農部 営農課

井上 博文さん

\ Profile /

いのうえ・ひろふみ (31歳)

趣味……………サッカー 好きな食べ物……ブロッコリー

▼職場の皆さんから見て…

課内一番の若手ですが、一昨年に米麦の検査員の資格を取得して、園芸と米麦の両方を担当し、これからの活躍を期待しています。



▶ 農業スクールで説明する様子

「入組9年目 農家さんの役に立てるように」

―入組して何年目ですか？

2012年に就職して、今年で9年目になります。

―JAに就職したきっかけは？

東京農業大学で学んだ知識を活かせる職場で働きたいと考え、地元で一番身近な農業に関する仕事ができるJAに就職しました。

―実際にJAに就職して、いかがでしたか？

大学では農業に関する経済や流通関係の勉強が中心でした。JAに就職して実際に野菜を栽培する過程を学ぶことができました。

―現在のお仕事内容を教えて下さい。

現部署は4年目でTACを担当しています。野菜の栽培講習会の開催や

圃場巡回、農業スクールなどを行っています。

―農業スクールとは？

直売所出荷している方や農業に興味を持っている方向けに、時期に合った作物の農薬の使い方や施肥の仕方などの情報提供をしています。今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で開催できていませんが、8月から再開予定です。

―仕事をするうえで心掛けていることは？

農家さんの立場に立って考え、一方的にならないように、難しい内容はなるべく噛み砕いて分かりやすく説明するようにしています。

―どんな時にやりがいを感じますか？

農家さんが作物を出荷するまで無事にサポートできた時です。

―休日はどのように過ごしていますか？

時間が合うときに有志で集まって、フットサルをしています。

―サッカーはいつから？

小学生のときから始めて、中学、高校と部活動に入っていました。大学からは趣味程度に続けています。

―今後の意気込みをお聞かせください。

農家さんの役に立てるように努力していききたいと思います。

―井上さん、これからも地域の方々のために頑張ってください。ありがとうございました！

JA赤城たちばな

▶ 今後の管理方法について説明する後藤担当



パプリカの出荷は7月上旬から始まり霜の降りる12月までと、長期間管理が必要となります。同センターの神尾敦担当は「梅雨明け以降の巡回・指導を強化し昨年を上回る出荷量を目指したい」と意気込みました。パプリカは主に首都圏や上越、県内の市場に出荷され各地域のスーパーに並びます。

パプリカ出荷増へ

赤城橘やさい部会パプリカ分科会は6月下旬、JA赤城たちばなは赤城営農経済センターでパプリカ出荷会議を開催しました。分科会員やJA職員、市場関係・県の担当者ら約18名が参加しました。市場情勢や出荷規格を確認し、今後の管理について学びました。

東京シティ青果の海老澤和彦係長は「新型コロナウイルスの影響でパッケージされた商品の販売が伸びている状況。御地のトレーや袋詰めされているパプリカも需要は伸びると考えている」と生産者を激励しました。

県渋川地区農業指導センターの後藤瑞依担当は今後の管理を行う際の留意点について説明。特に梅雨明け以降晴天が続くハウス内も高温になりやすくなるため、「乾いている時間とすごく湿っている時間という両極端にならないようこまめにかん水や葉面散布を行ってほしい」と呼び掛けました。

GAP手法による営農指導の実践

JAにっただみどりは、令和元年度販売実績127億円。青果物については76億円の実績で県内有数の野菜産地です。出荷物は、キュウリ・ナス・トマト・ホウレン草などの施設野菜や、ヤマトイモ・ブロッコリー・エダマメ・レタスなどの露地野菜が京浜を中心に出荷されています。近年は、生産者の高齢化が進み、農作業の安全性や出荷物の品質の確保が問題となっています。

現在、JAではGAP手法を取り入れ「食の安心」「環境保全」「労働安全」に関する営農指導を展開するため、「GH農場評価員」や「GAP内部検査員」資格を取得させ専門性の高い職員の育成に取り組んでいます。

国内で標準的な「JGAP」に基づき、農薬や肥料の管理、農場、作業場の衛生管理など約35項目のチェックポイントを用意したチェックシートを各地区別に作物を選び、生産者に配っています。JAはそのなかから無作為に45人の農家を抽出。営農指導、園芸担当が、関係機関と一緒に巡回し、農家の作業場を点検、指導します。異物混入や農薬の適正使用に緊張感をもって取り組んでもらうのが目的です。

また、関係機関と連携した研修会の実施、GAP新聞の発行など継続的な取り組みを行っています。

世界標準の「グローバルGAP」認証を目指す管内の生産者団体を支援するための取り組みも実施されています。

JAにっただみどり



◀「グローバルGAP」取得に向けた生産者勉強会の様子

みどりの風 放映予定

※タイトル・放送内容等は変更となることがあります。

GTV 3ch 放映のお知らせ

番組名／提供	放送日 ※再放送日	時 間
今が旬！香りをお届け 夏ごぼう／JA佐波伊勢崎	8月10日(月)	PM 9:00～ 9:30
	※8月16日(日)	AM 8:00～ 8:30
高崎そだち 新鮮夏野菜をおいしく食べよう！／JA群馬中央会	8月17日(月)	PM 9:00～ 9:30
	※8月23日(日)	AM 8:00～ 8:30



能登 瑤子アナ

ミニトマトのハニーマリネ



Food adviser 石垣 恵美

1979年から群馬県家の光講師。
FM局等でも活躍中。

材 料

2人分	(1人分87kcal)
ミニトマト	250g
ハチミツ	大さじ1
レモン汁	大さじ1
オリーブオイル	小さじ1
塩	少々
コショウ	少々
ペパーミントの葉	適量

作り方

- 1 ミニトマトはたっぷりのお湯で、サツと茹でて湯むきする。
- 2 ボールにハチミツ・レモン汁・オリーブオイル・塩・コショウを入れてよく混ぜ、1を入れ冷やす。
- 3 冷やした器に盛り、ペパーミントを飾る。

花木流通センター便り

開催日

フェア

8月11日(火)～16日(日) お盆フェア

8月21日(金)～24日(月) 秋の準備園芸フェア

●定休日▶毎週火曜日

※8月11日(火)は休まず営業いたします。

※センター内では、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策にご協力ください。

KABOKU
花 木 流 通 セ ン タ ー

新鮮ぐんま **みのり館**

営業時間 9:00～16:00 6月～2月 毎週火曜日定休



前橋市亀里町1307-1
TEL027-220-2427 FAX027-220-2424

始まっています/みんながトクする

JAでんき

JAグループだから
簡単! 安心! 安い!

JAでんきとは
組合員のみなさまが日々ご利用されている電気の
料金をお安くするために、JAグループが取り扱う電気メニューです。
切り替え簡単、JA口座をそのままご利用できます。

お申し込み・ご相談は、またはお近くのJAでんき代理事業者へ。
おトクな料金メニューをご紹介します。

切替は簡単!

step 1 所定の申込書と
検針票の準備
※現在のご契約内容が分かるもの

step 2 JAでんき代理事業者
または
JAでんき担当者へ提出
※お郵送には電力会社への契約変更などを
含め切替手続きは一切発生いたしません。

step 3 指定メールアドレスへ
切替日程等
ご案内送付
※送付メールの到着などでドメイン設定を
行っていない場合は、メールの受信設定がない場合
がございします。
(※お申し込みを完了後、必ずご確認ください)

詳しくはこちらから!
<https://zennoh-energy.co.jp/ja-denki/>

お手続きも安心
担当者が
直接
ご訪問

【県本部通信】における個人情報の取扱いについて

【県本部通信】に投稿いただいた方の個人情報は、プレゼントの発送やお返事、紙面での紹介に使用させていただきますのでご了承ください。また、これらの個人情報は前記の目的以外には使用せず、ご本人より事前に同意をいただいた場合以外には一切開示いたしません。

自由なご意見・ご感想をお寄せください。

《あて先》〒379-2147 群馬県前橋市亀里町 1310 番 JA 全農ぐんま「県本部通信」係まで
E-mail : info-gunma@gm.zennoh.or.jp ※JA メール等でも結構です。